

Newsletter



日本教育情報学会
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

NO. 75 1998. 3. 30

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel 03-3704-9168 Fax 03-3704-9456 インターネットアドレス <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

日本教育情報学会 第14回年会発表申込み受付中 第2回ホームページコンテスト応募申込み受付中

現在、第14回年会発表申込みと第2回ホームページコンテスト応募申込みの受付中です。発表予定の方は次ページ以降の要項をご熟読の上、期限内にお申込みください。

なお、年会の参加申込み等詳細は次号でお知らせします。

第14回年会 期日 1998年8月3日(月)・4日(火)

会場 聖徳大学(千葉県松戸市相模台531)

研究発表要項 2~4ページ 申込書 別紙

第2回ホームページコンテスト 要項 7ページ 申込書 8ページ

年会費お支払いのお願い

1998年度がはじまります。本年度の会費の振込用紙を同封いたしましたので、手続きをお願いいたします。

本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、97年分の年会費のお支払いが、まだお済みでない方は本年度会費と合わせて手続きくださいますようお願いいたします。

日本教育情報学会 第14回年会

期 日 1998年8月3日(月)・4日(火)

会 場 聖徳大学 所在地 〒271-8555 千葉県松戸市相模台531 (TEL 047-365-1111)

交 通 J R常磐線,地下鉄千代田線直通 J R常磐線緩行線 松戸駅下車 徒歩5分
(J R上野駅から約20分,または千代田線大手町駅から約30分)

事務局 聖徳大学内 日本教育情報学会第14回年会実行委員会

日 程

8月3日(月)		8月4日(火)	
9:30~12:00	研究発表	9:30~12:00	研究発表
12:00~13:00	昼 食	12:00~13:00	昼 食
13:00~13:40	総 会 ホームページコンテスト表彰式	13:00~15:00	研究発表
14:00~15:30	シンポジウム	15:10~17:00	パネル討論
15:40~17:50	研究発表		
18:00~19:30	懇親会		

(1) シンポジウム

テーマ「学習環境を支える情報のあり方—新しい時代の情報メディアの整備—」

本学会は1985年に「教育情報の流通」の研究を主目的として設立され、本学会の特色として過去に何回か議論されてきましたが、テーマの広さと深さのため、ようやく輪郭をつかむ段階にたどり着いた程度と言っても過言ではない状態です。

そこで、今回の年会では、「教育情報」を「児童・生徒の学習環境」という視点から価値判断をすることとし、学習環境を支える、あるいは学習が円滑に進むために必要な教育情報はどのような情報であつたら良いのかという、より具体的なテーマで本来の主題に迫ろうとして設定しました。

(2) パネル討論

テーマ「総合的な学習におけるデジタルメディアの利用」

教育課程審議会の答申では「総合的な学習」という言葉が教育界に新鮮な印象を与えております。この意味づけ、あるいは存在理由は兎に角として、今日の学校教育においてはデジタルメディアの活用は広く行き渡っており、今後はその効果、影響が幅広く出てくると考えられます。

そこで、「総合的な学習」の中で効果的な学習活動が約束されるはずと、多くの教師の間で信じられているデジタルメディアの利用はいかにあるべきか、過去の蓄積・経験からいかに学ぶか、将来展望も含めて議論したいとして設定しました。

(3) 課題研究テーマ

課題1. 「情報教育構築の諸課題」

情報教育は一部の研究を除いて、具体的な内容の提案が少ない状態です。なぜ情報教育を行うのか、情報教育は必要なのか、必要であるならその理由は何なのかという大きな問題はまだ残っています。これらに関する真剣な研究の応募を期待します。

課題2. 「地域ネットワーク」

各県、各地域において教育委員会等を中心としてネットワークを組み、各学校と結ぶ計画が着々

と進んでおります。これによって何を旨し、何が成果として残るであろうか、その実際の問題点を含めて議論したいと思えます。

課題3. 「インターネットと学校教育」

早い時期に各学校がインターネットにつながれる可能性が高まっています。しかし、実際の授業でのインターネットの活用となるとすでに様々な問題点が出てきています。これらの問題点と解決策を含んで、具体的な取り組み例、将来計画などの応募を望んでおります。

課題4. 「特色ある情報教育の試み」

情報教育はすでに小・中・高・大その他各種教育機関で行われています。しかし、相変わらずどこでも「ワープロ・表計算・データベース」の三種の神器でいいのかという議論は続いています。これを打ちうち破るべき特色ある情報教育も各地で行われていることも事実です。このような実践を集めて議論したいと思えます。

課題5. 「遠隔教育」

大学間での人工衛星を使った授業はすでに行われていますが、テレビ会議システム、インターネットを使った遠隔授業などの技術革新も進んでおり、これらを用いて何が変わるのか、価値ある結果が生まれるのか、問題点は何か等を議論したと考えます。

(4) 一般研究発表

1) 発表申込者 会員及び会員に準ずるもの。

2) 発表分野

①本会定款第4条(目的)にあるように、「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。教育情報は大きくみて、教育に関する情報と情報に関する教育が含まれます

②これまでの発表セッションは次のとおりです。

教育情報一般、データベース、マルチメディア、メディア、教育用ソフト一般、学習ソフト開発、教材開発、情報システム開発、情報教育、情報処理教育、ツールソフト利用教育、シミュレーション学習、情報検索教育、教育用ソフトウェア、教育情報ネットワーク、ヒューマンインターフェース、インターネット、パソコン通信、学習評価、授業分析
--

3) 発表申し込み関係スケジュール

①発表申込締切 1998年5月 8日(金)

②発表決定通知 1998年5月13日(水)

③論文提出締切 1998年6月27日(土) いずれも締切日必着でお願いします。

4) 発表申込方法

①同封の「年会一般研究申込書」(同封の申込用紙右側)に必要事項を記入の上、申込締切日(5月8日)までに、第14回年会実行委員会事務局(後記)へ送付してください。

②研究発表会場で口頭発表できるのは、会員1人について一般研究1件だけです。口頭発表する会員を、申込書の「講演者」の欄に書いてください。

5) 申込書の書き方

①年会一般研究発表申込書は、一般研究発表1件について1枚とします。

②講演者とは、研究発表会場で口頭発表をする会員です。

③共同研究者は何人でもかまいません。

④概要はなるべく詳細に書いてください。

⑤キーワードとして、前記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。

⑥会場で使用できる機器は、OHPとVTRです。パソコンは会場に用意できませんので、使用する場合は持参する機器の欄に記入してください。

6) 発表者への連絡

- ①発表者には、5月13日頃発表の可否を連絡します。
- ②発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ③論文の原稿枚数は、2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、ワープロ出力したものを提出していただきます。

(5) 課題研究発表

1) 課題研究は前記(3)のテーマにより各分野から発表していただく予定です。

2) 課題研究の審査

- ①課題研究発表は、各テーマごとに担当コーディネータが発表概要を詳細に検討し、発表の可否について審査します。
- ②発表の可否は、発表内容だけでなく、全体の発表件数を考慮して決定しますので、発表否となる場合もあることをご了承ください。
- ③課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができます。

3) 課題研究の申込方法

- ①年会課題研究発表申込書(同封の申込用紙左側)に必要な事項を記入の上、申込締切日(5月8日)までに、第14回年会実行委員会事務局へ送付してください。
- ②他の事項は、前述の一般研究発表申込方法、申込書の書き方、発表者への連絡を参考にしてください。なお、記入の際に課題研究テーマ番号を該当欄に明記してください。

(6) 参加費

・会員の予約の場合

参加費 3,000円 資料代 3,000円 懇親会費 4,000円

・会員の当日の参加、または会員外

参加費 4,000円 資料代 3,000円 懇親会費 4,000円

*会員でない方々(小・中・高校・専門学校の先生方、企業の方々など)も会員に準じて発表できるようにする方法をとる予定ですので、ご希望の方は年会事務局へご連絡ください。

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先: 〒271-8555 千葉県松戸市相模台531 聖徳大学内

日本教育情報学会 第14回年会実行委員会事務局 宛

TEL 047-365-1111

問い合わせ先: 木下昭一 (kinosita@seitoku.ac.jp),

土橋永一 (dobashi@seitoku.ac.jp)

財団法人 電気通信普及財団
平成10年度 福祉、文化事業援助要項

電気通信普及財団の助成・援助事業について

財団法人電気通信普及財団（会長 正宗猪早夫）は、広く電気通信を普及、発展させることにより、高度情報社会の健全な進展を図り、もってわが国社会経済の発展に寄与することを目的として

- 1 電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査
- 2 電気通信技術に関する振興、普及に関する研究調査
- 3 電気通信を利用した福祉、文化事業
- 4 電気通信に関する学術交流及び国際協力

に対して助成・援助を行っております。

今回は上記4部門のうち 3 電気通信を利用した福祉、文化事業 及び 4 電気通信に関する学術交流及び国際協力 に対する援助、具体的には次の各項について申込みを受付けます。

- (1) 電気通信に関する特別講義開設援助
全国の主要大学に照会します。
- (2) 電気通信に関する図書、文献の寄贈
別途指定する大学に照会します。
- (3) 電気通信に関するシンポジウム、セミナー開催及び電気通信の普及、振興に著しく貢献する事業に対する援助（平成10年10月以降に開催するものに限りです。）
全国の主要大学、研究機関、学会等に援助要項、申込書を送付します。
- (4) 電気通信を利用したボランティア活動に対する援助
全都道府県及び政令指定都市にボランティア団体の推薦依頼を行います。
- (5) 長期海外研究援助
電気通信に関連する分野（人文・社会科学を含む）の研究者が、海外の大学又は研究機関の招請を受けて留学する場合に、旅費と滞在費を援助します。
- (6) 海外渡航旅費援助
海外の学会で、電気通信に関する研究発表を行う研究者等に、旅費と滞在費を援助します。

申込受付期間は、次のとおりです。

項 目	申込書 様 式	受付期間
(1) 特別講義開設援助	Ⓐ	10年5月1日～9月30日
(2) 図書、文献の寄贈	Ⓑ	10年5月1日～5月31日
(3) 電気通信に関するシンポジウム、セミナー開催及び電気通信の普及振興に著しく貢献する事業に対する援助	Ⓒ	
(4) ボランティア活動に対する援助		
(5) 長期海外研究援助	Ⓓ	4月、6月、8月、10月、 12月、2月の各1日まで
(6) 海外渡航旅費援助	Ⓔ (注) 要項あり	

●援助要項と申込書の入手先・申込書送付先●

各大学・研究所の事務室宛に送付してありますが、入手、困難な方は直接財団にお問合せください。

〒105-0003 東京都港区新橋1-6-11 西新橋光和ビル5階

財団法人 電気通信普及財団 (T A F)

TEL 03-3580-3411 FAX 03-3580-3488 URL: <http://www.taf.or.jp/>

財団法人 科学技術融合振興財団 平成10年度助成金応募のご案内

これは、科学技術の融合等に関する研究に対して、当財団が助成金を交付し、調査研究を支援するものです。

研究課題は、

- ① シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究
- ② シミュレーション&ゲーミングによる教育用ソフトウェアの試作
(教育用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓蒙活動)

といたします。

応募締切日 平成10年10月15日(木)

応募者の資格は、国内の大学・研究所等の非営利の研究機関に属する研究者で、正式部局員といたします。

助成金は、1件100万円～300万円程度を基準に、総額2,000万円を交付いたします。

●応募要項と申請書の入手先・申請書送付先●

〒223 神奈川県横浜市港北区日吉本町1-4-24

財団法人 科学技術融合振興財団

TEL 045-562-5432 FAX 045-562-6132 (担当:事務局 丸山)

第2回 日本教育情報学会 ホームページコンテスト

【主催】 日本教育情報学会

【共催】 財団法人 視聴覚コンサルタントセンター (AVCC)

【趣旨】

最近のインターネットの加速度的な発展は目を見張るものがあります。中でもホームページの普及は2、3年前には考えられないものです。特に、ホームページは個人や企業、教育機関が自由に、比較的安い費用で情報発信を行えるという点で、非常に画期的なものだといえます。

このようなホームページの普及の中で、ホームページのクオリティを高めるとともに、教育における利用を考えるため、日本教育情報学会では以下の要領でホームページコンテストを開催いたします。

【応募要領】

応募作品 HTML言語で書かれたホームページであり、ブラウザとして Netscape 3.0, または Internet Explorer 3.0 以降を使用して見ることができるもの。

応募資格 年齢, 職業, 国籍, 会員であるか否かは問いません。

応募条件 応募作品は, 主催者及び主催者が認める各種団体, 法人等が本コンテストの審査の発表, PR, 広報のために上映, 複製, 印刷, 展示をすることがある。また, 審査やその他の理由により主催者が作品の複製を行った場合には, その複製物の保存, 消去については主催者に一任すること。

応募作品は日本教育情報学会または, AVCCのホームページ上で公開する。

応募方法 別紙のホームページコンテスト応募用紙に必要事項を記入の上, 下記の日本教育情報学会事務局へ送付する。

著作権について 応募作品は応募者自身が著作権を有するもの, または第三者から応募に必要な著作権使用の許諾を受けているものに限ります。

応募作品の中の一部に応募者以外の第三者が著作権を持っているもの(写真, イラスト, 美術作品等)を使用する場合には, 応募に必要な著作権使用の権利を応募者自身が権利者から取得してください。

万一, 第三者から権利侵害, 損害賠償等の主張がなされた場合, 主催者は一切責任を負いません。

審査 教育的観点から作品の内容, 構成について審査します。

審査員 木田宏 日本教育情報学会会長 他

審査結果発表 1998年 8月 3日(月)。第14回日本教育情報学会年会会場にて発表する。

表彰 「日本教育情報学会賞」賞金10万円, 副賞。

「部門賞」賞金5万円, 副賞。(小中学校の部, 高校の部, 大学の部, 専修学校の部, 社会教育施設の部, 個人の部, 海外日本人学校の部, 企業の部)

参加申込締切 1998年 7月 4日(土)

参加申込書送付先・問い合わせ先

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会運営本部事務局

Tel 03-3704-9168 Fax 03-3704-9456

Email. wakayama@jumonji-u.ac.jp

第2回 日本教育情報学会 ホームページコンテスト 応募用紙

ホームページ名	
作成団体名	
連絡責任者氏名	
連絡責任者住所	〒 Tel () - Fax () -
ホームページURL	
ホームページの特徴	
ブラウザの種類	ネットスケープ マイクロソフト・インターネット・エクスプローラ (該当するものに○をしてください。両方共の場合は両方に○をしてください)
参加部門 (該当するものに○をしてください)	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 25%;">・小学校の部 <li style="width: 25%;">・中学校の部 <li style="width: 25%;">・高校の部 <li style="width: 25%;">・大学の部 <li style="width: 25%;">・短大の部 <li style="width: 25%;">・専修学校の部 <li style="width: 25%;">・社会教育施設の部 <li style="width: 25%;">・個人の部 <li style="width: 25%;">・海外日本人学校の部 <li style="width: 25%;">・企業の部
CGI, Java等 ヘルパーの使用	
備 考	